

救命救急センター

定光大海

救命救急センター・救急科（総合救急部）は主に三次救急を担っている。ホットラインを通じて救急隊や他院からの要請に 365 日、24 時間対応している。受け入れる傷病者では外傷例が最も多く、外因による重症患者の受入れを特徴とした救命救急センターとなっている。時間外に二次救急医療機関で受け入れが困難な事例への対応を目的とした大阪府コーディネート事業にも参加しているが、高齢者、薬物大量服用、飲酒、精神疾患で身体損傷を伴う事例などが多く、社会の根の深い問題に直面している。その他にも救急救命士を含む救急隊員の病院前医療活動の質を保証するメディカルコントロール（MC）や政策医療の一つである災害医療にも対応している。

特に、災害医療では、DMAT (Disaster Medical Assistance Team)としての対応や放射線災害に対する緊急被ばく医療を主要な業務として、広域の共同研究や災害訓練にかかわってきた。東日本大震災では、DMAT 派遣、医療支援、さらに被ばく医療への対応を行った。放射性物質の内部被ばく検査も災害医療棟地下の除染施設で行った。今後はさらに機能の充実が求められる。DMAT 事務局の代替機能を果たすための組織作りも重要な課題である。

研究テーマも三次救急の代表的な病態である多発外傷、院外心停止、中毒、熱傷、多臓器不全が中心になる。外因性救急病態での血中プロカルシトニン値の評価や院外心停止の CT 画像診断の意義についての NHO 共同研究は多数の症例登録を行った。NHO 指定研究である「広域災害時の NHO の役割」では、災害時要救護者への対応策についてアンケート調査を行った。厚生科学研究費補助金による「災害時効果的初動期医療の確保及び改善に関する研究」では共同研究者として災害時の標準的診療録作成を目指している。自主研究では近畿多施設共同研究で「院外心停止例の蘇生後人工呼吸器関連肺炎に関する前向きコホート研究」について主任研究者としてまとめている。遺伝性血管性浮腫（HAE）疫学調査の分担研究も継続中である。熱傷や軟部組織損傷に対する再生医療はなお計画中である。

臨床と研究を担うスタッフ医師が不足しているが新たな人材確保もできて、今後診療・研究機能の展開を期待している。

【2012 年度研究発表業績】

A-0

Yamanaka K, Yamamoto A, Ishida K, Matsuzaki J, Ozaki T, Ishihara M, Shimahara Y, Nakajima S, Sadamitsu D, Yamasaki M: Successful endovascular therapy of a penetrating zone III jugular bulb injury. (A case report, Department of Neurosurgery, Osaka National Hospital, National Hospital Organization, Osaka, Japan.) 18 (2) P195-199、2012 年 6 月

A-1

上尾光弘：骨折の創外固定法「今日の治療指診」：P.111、医学書院、2013 年 1 月

A-2

定光大海、上尾光弘：敗血症性脳症の最近の治見「救急 ER ノート 5」：p239-244. 羊土社、東京、2102 年 4 月

西村哲郎、定光大海：陰部「救急医学 スポーツ医学と救急医学」vol.36 (No.9)、へるす出版、2012 年 9 月

A-3

湯本哲也、西村哲郎、前野良人、他：外傷患者における冷汗の意義「日本外傷学会雑誌」、26 (3) P330-334、2012 年 7 月 2011 年 5 月

上尾光弘、定光大海、岡嶋祥憲、下野圭一郎、曾我部拓、立野里織、坂本道治、島原由美子、若井聡智、西村哲郎：救命救急センターから見た児童虐待「医療」Vol.66 (7号)：P. 300-304、2012 年 7 月

曾我部拓、西村哲郎、立野里織、島原由美子、若井聡智、定光大海：腸管損傷を合併した電撃傷の 1 例「熱傷」、Vol.38 (No.3)：P26-32、2012 年 9 月

島原由美子、西村哲郎、湯本哲也、曾我部拓、立野里織、金原太、定光大海：急性薬物中毒症例に合併した肺傷害の検討「日本集中治療医学会雑誌」20:P99-100、日本集中治療医学会、2013 年 1 月

A-4

定光大海：児童虐待-I-総論；国立病院機構の救命救急センターにおける現状「医療」、vol.66(No.6)、国立医療学会、2012 年 6 月

上尾光弘：関節液採取法と検査「救急医学」織田 順、Vol.37 (No.3)：P.324-327、へるす出版、2013 年 3 月

A-6

西村哲郎：南相馬大町病院で考えたこと「第一回福島災害医療研究会 記録集」：P8-9、福島災害医療研究会、2013 年 3 月

B-2

Shimono K, Wakai A, Ohnishi M, Hattori Y, Hirose T, Sadamitsu D.PP040-SUN SUCCESSFUL ADMINISTRATION OF INTERMITTENT ENTERAL FEEDING IN ACUTE PHASE OF TRAUMATIC BRAIN INJURY. ESPEN (European Society for Clinical Nutrition and Metabolism)、Barcelone Spain、2012 年 9 月

B-3

西村哲郎：重症熱傷に伴う消化管病変への対応。第 83 回日本消化器内視鏡学会総会、東京、2012

年 5 月

北川智彦、島本裕子、福田剛史、定光大海、田中一彦、小森勝也：原子力災害を考える 2 次被ばく医療施設の対応。第 15 回日本臨床救急医学会総会・学術集会、熊本、2012 年 6 月

定光大海：介護療養型医療施設の今後を考える—救命救急センターの立場から—。第 20 回日本慢性期医療学会、福井、2012 年 11 月。

定光 大海、若井 聡智、小早川義貴、近藤 久禎、小井土雄一：重症心身障害傷病者の避難搬送。第 66 回国立病院総合医学会、神戸、2012 年 11 月

B-4

岡島祥憲、若井聡智、下野圭一郎、曾我部拓、立野里織、島原由美子、西村哲郎、上尾光弘、定光大海：広範囲熱傷患者に対するエネルギー消費量（E E）測定可能な人工呼吸器の使用経験。第 38 回日本熱傷学会総会、東京、2012 年 5 月

湯本哲也、西村哲郎、前野良人、若井聡智、上尾光弘、定光大海：外傷患者における冷汗の意義。第 26 回日本外傷学会総会・学術集会、東京、2012 年 5 月

島本裕子、福田剛史、定光大海、田中一彦、小森勝也：Sepsis における SIRS スコアとバンコマイシンクリアランスの相関—投与量調節への示唆、TDM の標準化 TDM 研究。第 29 回日本 TDM 学会・学術大会、神戸、2012 年 6 月

岡島祥憲、若井聡智、下野圭一郎、曾我部拓、立野里織、島原由美子、西村哲郎、上尾光弘、定光大海：広範囲熱傷患者に対するエネルギー消費賞（E E）測定可能な人工呼吸器の使用経験。第 38 回日本熱傷学会総会、東京、2012 年 5 月

島原由美子、西村哲郎、岡島祥憲、下野圭一郎、曾我部拓、立野里織、若井聡智、上尾光弘、定光大海：Post-extubation stridor により再挿管に至った症例の検討。第 40 回日本救急医学会学術集会、京都、2012 年 11 月

曾我部拓、岡島祥憲、下野圭一郎、立野里織、島原由美子：当院救命救急センターにおける小児外傷症例の検討。第 40 回日本救急医学会学術集会、京都、2012 年 11 月

定光大海、若井聡智、服部雄司、松本洋美：災害拠点病院の情報整理ツールとしての災害診療録作成に向けて。第 18 回日本集団災害医学会総会・学術集会、神戸、2012 年 1 月

B-5

島原由美子、西村哲郎、定光大海：心拍再開した院外心停止例の肺感染症発生率に関する研究。近畿救命救急医学領域感染症懇話会、大阪、2013 年 2 月

B-6

曾我部拓：Blom®気管切開チューブの使用経験。第 58 回日本集中治療医学会近畿地方会、神戸、2012 年 7 月

B-8

定光大海：東日本大震災からみた放射線災害と被ばく医療。大阪市消防局講演、大阪、2012 年 2 月

定光大海：東日本大震災について。大阪DMA T 講習会、大阪、2012 年 2 月

上尾光弘：外傷初期診療の基礎～予期せぬ外傷死を防ぐために～ 特別講演。第 168 回静岡県整形外科医会集談会、静岡、2012 年 7 月

西村哲郎：ディスカッションパネリスト第 4 回近畿救急モニタリング研究会、大阪、2012 年 9 月

上尾光弘：スポーツ外傷。平成 24 年度救急救命士新規養成課程（大阪市消防学校）、2012 年 10 月

上尾光弘：皮膚・軟部組織外傷。平成 24 年度救急救命士新規養成課程（大阪市消防学校）、2012 年 10 月

若井聡智：EMS（地域救急医療推進ネットワーク）、2012 年 4 月、7 月、9 月、12 月

定光大海：災害医療。医師会生涯教育、2012 年 10 月

定光大海：重症頭蓋内疾患の診断と治療。日本救急看護学会主催 救急看護セミナー 基礎病態セミナー、久留米、2012 年 9 月

定光大海：緊急被ばく医療初級講座。公益財団法人原子力安全研究協会、磐田市立総合病院、2012 年 7 月

定光大海：緊急被ばく医療初級講座。公益財団法人原子力安全研究協会、国立病院機構岡山医療センター、2012 年 9 月

定光大海：緊急被ばく医療初級講座。公益財団法人原子力安全研究協会、りんくう総合センター、2012 年 9 月

定光大海：緊急被ばく医療初級講座。公益財団法人原子力安全研究協会、大阪医療センター、2012 年 10 月

若井聡智、上尾光弘、島原由美子：RA 連携研究会、大阪医療センター、2013 年 2 月

B-9

定光大海：救急医療における薬剤師の役割。株式会社日経ラジオ社、大阪、2012 年 9 月